

協和産業(高松市)

ポリプロピレンフィルム

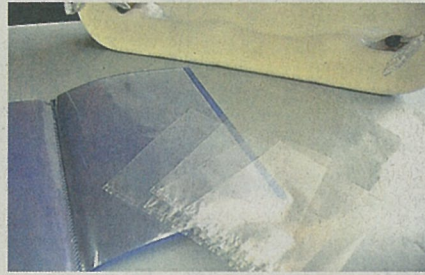
透明度高め他社と差別化

透明な食品包装袋などに加工するポリプロピレンフィルム。協和産業(高松市)は透明度が高く、厚さをミクロン単位で調節した高品質な製品で他社と差別化を図る。

溶かした樹脂を筒状のフィルムに成形し、水で急速に冷ます「水冷式インフレーション成形」という製法を採用。空気中で冷やすよりも透明度が増し、中身の見栄えが良くなるとして、パンや野菜などを入れる袋や、文房具のクリアファイル用などに使用される。

フィルムの強度に影響する厚さは、1袋ごとに20~100ミルまで調整でき、発注にきめ細かに応える。

需要の多様化に合わせ、すりガラスのように透明度を下げたフィルムも製造している。



- ▷本社 高松市屋島西町
- ▷設立 1964年12月
- ▷資本金 3000万円
- ▷従業員数 46人

DATA

- ▷売上高 12億5000万円
- ▷経常利益 500万円
(2012年8月期)
- ▷社長 松岡聖士